

北海道開発の将来展望に関するとりまとめ素案(骨子)

1. 我が国をめぐる
長期的な潮流と課題

- 我が国の人口急減・超高齢化(50年後に1億人程度の安定な人口構造を保持する必要)
- 大規模災害の切迫
- 世界の人口、食料、エネルギー需要の増加など
- 人口減少を克服する地方創生や強さとしなやかさを持った安全・安心な国土・地域・経済社会の構築、国際環境の変化を踏まえた食料・エネルギー政策などが課題

2. 北海道の人口経済と
新たな政策課題の動向

- 北海道の人口は平成9年をピークとし、他の地方圏を上回る人口流出が続いており、地方創生は北海道にとって極めて重要
- 定住人口の確保、交流・連携人口の増加や持続的・安定的経済の確立などが課題
- 新たな政策課題として、農林水産業の成長産業化、観光立国の実現、「自律・分散・協調」型国土の形成、安定的なエネルギー供給、気候変動に伴う暴風雪対策や治水安全度の向上などが課題

3. 北海道開発を考える視点

- ー長期的・グローバルな視点では何が価値をもつかー
- 食料供給力、広大な土地、豊富な資源・エネルギー
- 北の優位性ー地球温暖化により水稲が北の地域で増収の可能性、雪の魅力、地理的位置
- 広域分散、遠隔地の地域条件が、リスク分散の観点からは優位性に転換、技術革新による弱み克服の可能性
- 国民の豊かさを最大化ーゆとりや受容性、美しい景観・自然
- 北海道の固有性ーアイヌ文化、開発の歴史、寒冷地技術

4. 目指すべき北海道の
中長期的な将来像

〈食と観光で世界水準の価値創造〉

- 食関連産業の革新が実現し、北海道が我が国の食と農業の中心となっている
- 世界に評価される観光地となり、観光が稼ぐ基幹産業となっている

〈ナショナル・レジリエンスへの貢献〉

- 国家的規模の災害に備えた機能分散や体制整備が強化され、災害発生時に役立っている
- エネルギー安定供給体制の強靱化に北海道が役割を担っている

〈国内外との交流・連携による活力創出〉

- 北海道の固有性を活かした世界とのつながりが形成されている
- 地域資源で稼ぐ仕組みができた地域や、連携人口の増加により活力を創出している地域など、人口減少の克服に向けた元気な地域が北海道の各地に形成されている

〈安全・安心な社会基盤の確保〉

- 住民生活や事業活動を支える安全・安心な社会基盤が確立し、特に冬の生活・事業環境が向上している

5. 国の課題解決への貢献
(北海道開発の意義)

○多様で活力ある持続可能な地域社会モデルの提示

- ・約10年先んじて人口減少・高齢化が進む北海道が高品質な農水産物・食品と観光資源で稼ぐ地域社会のトップランナーとなり、我が国の希望と活力になる

○我が国の安定性への寄与

- ・食料自給率の維持・向上への貢献、国内の食料供給力の中心的役割
- ・エネルギーの安定供給や地球環境問題への貢献
- ・機能分散の受け皿となることにより脆弱な国土構造の改善に寄与
- ・北海道を通じた我が国と諸外国との友好関係の深化
- ・北の国境地帯に位置する北海道が活力ある地域社会を形成し国の安定に寄与

○多様な価値観が共生し活力ある社会を形成する共生社会の実現

- ・アイヌ文化等に関する国民理解の促進により我が国の多様な文化の発展に寄与し、もって共生社会を実現

6. 効果的な計画推進のための取組戦略

○広域分散等の特性を踏まえた地域構造の形成

- ・北海道は広域分散、農村の散居等の地域条件があり、これを踏まえた都市機能の確保等により都市圏・地域を維持し、道内相互及び道の内外を交通、情報、文化等のネットワークで力強く結びつけ、道央、道南、道北、道東が個性を活かして発展するなどの北海道型ネットワーク構造が必要

○地域と協働したインフラのマネジメントの推進

○北海道・地域の発展を担う多様な中核的人材の育成・活用

○民間の参加を促進するプラットフォーム等の体制構築と投資の促進

○圏域間や道外他ブロックとの連携の促進

○自律的な地域運営とコミュニティ機能の向上

○2020年に北海道の魅力を世界に発信